



ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

FUJIEDA ROTARY CLUB
藤枝ロータリークラブ会報
 例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
 URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：大塚 博巳 副会長：池ノ谷 敏正 幹事：森下 敏顕 副幹事：鈴木 舜光

第2024回

- ソング 我等の生業
- ソングリーダー 大長 昭子君



【薔薇】

写真提供：櫻井 龍太君

会長報告

大塚 博巳君

11月初めに史上最大の台風がフィリピンの沿岸地域に大災害をもたらしたことはご承知の通りでございます。

その後、当クラブのメンバーからも「義捐金は？」との声もありましたので、第2620地区事務局にて意向を確認しましたが、11月時点では「ロータリーでの動きはない」という返事でありました。

12月6日に初めて「フィリピン中部地域大災害復旧義援金募集について」の案内がありました。

- ・国内34地区のガバナー会（ガバナー全員）の思いが一つになり、日本国内のすべてのクラブによる支援を行うことになった。
- ・ガバナー会で専用口座を設けて、全国のロータリアンから寄せられた浄財を、ガバナー会議長の舟木いさ子氏（東京白金RC）が、現地に赴いて、然るべきフィリピンのロータリークラブの責任者に直接手渡す。（支援のため集めた浄財を本当に困っている人に手渡し、役に立ててもらおう）
- ・義援金は「例会の場にて一人 1,000円」を募集。【指定口座に振りこむ】

※但し、気持ちを頂くのであり決して強制ではない。

本日の理事会で協議しますが、皆様方のご協力をお願いいたします。

FIFA ワールドカップ 2014ブラジル大会の一次リーグの組み合わせが決まり、アジア代表の日本はC組に入りました。

C組は、コロンビア（4位、南米）、ギリシャ（12位、欧州）、コートジボアール（17位、アフリカ）、

日本（48位）の4チームです。日本は世界ランキングで見ると48位と不利な状況ですが、11月の強化試合ではベルギー（世界ランキング11位）に3対2で勝利しました。

日本は得意の早いパス回し（組織力）で戦えば、決勝トーナメントに上がるチャンスは十分あると思います。

【FIFAワールドカップ ワンポイント】

- 開始：1930年にウルグアイで開催された。
※今回で20回大会となる。（途中で12年間休止）
- 主催：FIFA 国際サッカー連盟
- 参加：欧州、南米、北中米カリブ海、アフリカ、オセアニア、アジアの6大陸（32チーム）
※開催は、2010年南アフリカ大会から6大陸を持ち回りすることが決定された。
[2006年ドイツ、2010年南アフリカ、2014年ブラジル、2018年ロシア、2022年カタール]
- 賞金：2010年南アフリカ大会では総額369億円。
優勝26.4億円、2位21.1億円、3位18億円
1次リーグ敗退チーム7億円、その他に参加経費全チーム8837万円
- 経済効果：2014年ブラジル大会は8兆円という試算が出ています。
※ちなみに日本の“今大会予測”は4640億円（予選、強化試合、本大会等）
- 観客数：1994年 米国大会では359万人。
（52試合、1試合平均6万9000人）
※海外から100万人以上が訪れた。
（2010年南アフリカ大会は海外から140万人）
- 前回優勝：スペイン、2位オランダ、3位ドイツ
- 優勝回数：ブラジル5回、イタリア4回、西ドイツ3回
- 日本：過去4回出場、ベスト16が2回（2002年、2010年）
- 特徴：FIFA W杯は、サッカーだけの世界大会で、夏季オリンピックの中間期に開催されている。

期間中1ヶ月で320億人が視聴するとみられている。（TVは198ヶ国に放送される）

※サッカー人口は200ヶ国で250万人といわれる。今からしっかりと調整をして、期間中は「日の丸」が躍動してくれることを期待しましょう。以上、会長報告といたします。

■ 幹事報告

森下 敏顯君

- 第2620地区より
地区大会のご案内が届いております。
- 第2620地区より
短期（夏季）交換学生募集のご案内が届いております。
- 第2620地区より
山梨 RC ホームページのアドレス変更のお知らせが届いております。
- ザ・ロータリアン誌12月号が届いております。

■ 出席報告

河井 宏文君

| 本日のホームクラブ 出席者 | 前回の補正出席者 |
|------------------|--------------|
| 29/41 70.73% | 32/42 76.19% |

- (1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）
○石垣君 ○江崎晴君 ○鈴木邦君 ○鈴木透君
○畑君 ○松葉隆君 ○柳原君 ○山田君
大杉君 落合君 菅原君 仲田晃君
- (2)メイクアップ者
間野日出男君（焼津南）

■ スマイルBOX

河井 宏文君

- 先週のゴルフコンペで優勝することができました。2013年最後のコンペでしたので、本当にうれしいです。ただ、馬は当たりませんでした。確か当たったのは・・・
島村 武義君
- 8日ゴルフコンペで当日賞と初めての馬が当たりました。ありがとうございました。
竹田 勲君
- 8日のゴルフコンペで19人中最下位でしたが、馬はあたりました。 小西 敬一君

スマイル累計額 95,000円

■ ロータリーの友紹介

小西 啓一君



【12月号】

- 12月のテーマ 家族月間 家族とともに
RI 指定記事 3 頁
ポール・ハリスの家
35 頁
成長し続けるロータリー家族
横組み 8-10 頁
親族 3 人以上がロータリアンの紹介 5 組
11-14 頁
ロータリー家族と一緒に奉仕活動
19-22 頁
日韓親善会議 10月19日-20日
23 頁
日本の会員数
1920年10月20日東京 RC の創立 24 名
1996年11月末 130,982 人
2011年6月 88,256 人
前年度第1ゾーン（北海道・東北）会員数が増加
26-27 頁
バギオ基金について
概要・歴史については別紙 各テーブル1組
30-31 頁
震災復興支援プログラム 子供たちを対象に
縦組み 4-8 頁
子供たちの未来
難民高等弁務官 緒方貞子さん
口紅をたくさんもって行ってあげてください
9-12 頁
東北震災記事 名取市関上
復興の様子と RC の係わり
26 頁 島田 RC の講演会開催記事
余談 正常化の偏見
9月号で紹介の正常性バイアス大変似ている記事

正常性バイアスとは

人間には、身の回りで起こる様々な危険をすべて気にしていたらくらしてゆけないのでわざわざ危険に対する感度を下げる心の働きがある。

何かおかしいとおもっても、自分で大したことはないと調整し、対処が遅れてしまう。

■ インターアクト指導者講習会報告

副リーダー

松田 真彦君



11月17日 インターアクト指導者講習会 (三島)

国際ロータリー第2620地区の今年度のインターアクト指導者講習会は、三島ロータリークラブのホストの元、ホスト校である日本大学三島高校の同敷地にある日大国際関係学部の校舎にて開催されました。

同校は、中学、高校、大学と3つが同じ敷地に揃う非常に広大で、優雅な学校。三島市中心街にあって、ここまでの広大な敷地を有する同大学の経営資本力の大きさを感じました。

日大三島高校のインターアクトの生徒もまた、他校に比べて

その数も多く、盛り上がりの多い充実した運営をされました。

まず驚いたのは、ホスト校歓迎の言葉で、日大三島高校の三年の女子の

挨拶が、アナウンサー顔負けの堂々とした素晴らしいプレゼンであったこと。

愛くるしい顔も含めて、多くの人を魅了しました。

講演では、3部門に分かれてました。まず最初の富岡先生の「日本の国際貢献」についての講演では、先生がこれまで体験をされてきた海外貢献の話や現在大学で取り組んでいる研究テーマなどを披露されました。

二番目は、二杉先生にディベートについて。大変に分かり易く興味深い語りの二杉先生の講演が印象的でした。

最後の講演は、赤十字献血センター職員の斎藤氏の話。献血の実態や将来懸念などを話されました。そして、小児がんにかかった大阪のご家庭の実録ビデオを観賞し、実に泣けた内容でした。

分科会では、主として、今後のディベートの進め方についてホストの三島ロータリーから、積極的な提案が発議されました。個人的には、ディベートに関心があったため進行が楽しみでありましたが山梨県の教員の方々から、インターアクトで取り上げることへの異論が出され、三島ロータリーもそれを承服した形で収まりロータリーの地区においても、オフィシャルに取り上げることは約束されずに、三島ロータリーの自主運営で進めてもらう結論のようなスタイルに収まりました。

以下、本日の実施スケジュールです。

講演1

テーマ「日本の国際貢献」 日大国際関係学部准教授 富岡丈朗先生

内容：政府 ODA について

富岡ゼミでの活動。その主眼は、「地域(国内)」「国際交流」「国際協力」の3つの矢のバランスが重要。海外のことを知る前に、地域のことを知ること。

講演2

テーマ「ディベートを知ろう」

金城学院大学教授 二杉孝司先生

内容：①キーワードは「主張」と「根拠」

②ディベートは議論のゲーム

③ディベートで身につくこと

④ディベートのすすめ

講演3

テーマ「知って欲しい献血の現状」

日本赤十字沼津血液センター 齋藤慶太先生

内容：10代、20代の献血離れが大きな課題 将来的な献血不足

献血は命を救うボランティアであることの促進

分科会

主として、今後のディベートについての意見交換会

三島ロータリーからの発議



(担当/池谷君)